TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　キリストにある幼子?!
コリントの信徒への手紙一 3:1-4

2024年11月2＆3日
余沢　武　牧師

I. はじめに

ご挨拶いたします。第１コリント人への手紙では、パウロが分裂していたコリントの教会に宛てて、「神の知恵」を思い出すように書いた内容を見てきました。私たちが罪を認め、イエスの十字架を自分の罰として受け入れ、赦しと助けを求めると、私たちは変えられ、一つになるというものです。

パウロは言います。「霊の人」にしか語らない「成熟した者たちの知恵」があると。私たちはまだ完全には至っていないことを理解し、イエスのようになるために、前進し続け、自分の罪を見つめ、十字架を受け入れ、助けを求める必要があることを知ることです。

今日は、コリントの教会がどうこの教えを誤解し、未熟なままでいたかを見ます。まずは、祈りましょう。

II. キリストにある幼子

(1) あなたがたはまだできなかった

1コリント 3:1-2a です。「きょうだいたち、私はあなたがたには、霊の人に対するように語ることができず、肉の人、つまりキリストにある幼子に対するように語りました。2:私はあなたがたに乳を飲ませて、固い食物は与えませんでした。まだ固い物を口にすることができなかったからです。」

パウロは彼らを「きょうだいたち」と呼んでおり、これは「霊の人」、つまり聖霊を持つクリスチャンを意味しました。しかし、パウロの語りかけは、あたかも「肉の人」、つまり聖霊ではなく、人間の自然な欲求に動かされる相手に対するようでした。

パウロはこれを「キリストにある幼子」で、乳(ミルク)を飲みまだ固い物を口にできないと言いました。

赤ちゃんが生まれるとき、飲み込んで消化できるのはミルクだけです。赤ちゃんは「未発達な腸」と呼ばれる状態で、細菌が入り込めます。これが、赤ちゃんが最初の 4～6 か月間はミルクしか飲まない理由です。体が発達して初めて、固い物を食べることができます。

私たちの霊的な食事も同じです。私たちがイエスを知ったばかりのとき、つまり新しく生まれ変わったばかりでは、霊的なミルクが必要です。これが、パウロがコリントのクリスチャンたちを新しく生まれた幼子であると言った理由です。パウロは彼らに霊的なミルク、つまりシンプルな「神の知恵」であり、固い物となる「成熟した者たちの知恵」ではありませんでした。

(2) 今でもできていません

「[2b]いや、今でもできません。[3]相変わらず肉の人だからです。互いの間に妬みや争いがあるかぎり、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいる、ということになりはしませんか。」

パウロは言います。4-5 年が経ちましたが、「今でもできていません」。今は固い物を食べているはずです。しかし、まだミルクしか飲んでいません。

5 年前、パウロはコリントに行き、神の知恵としての「ミルク」を彼らに伝えました。パウロはコリントの人に次のことを伝えました。
あなたは罪人です。そしてイエスはあなたの罪のために十字架で死に、よみがえりました。
あなたはイエスの死を自分の罪の罰として受け入れますか？
あなたはイエスに赦しを求め、変われるように助けを求めますか？

聖霊がコリントの人々の心に触れました。こう言われて、彼らは一つか二つの罪に気づきました。たとえば、嘘をついたり、誰かを傷つけたり、不道徳なことをしたことです。彼らは罪を認めました。それらの罪を悔い改めました。

謙虚に赦しと助けを求めました。赦されました。聖霊が彼らの中に住みました。救われました。そして、聖霊の助けによって、彼らはそれらの罪をやめました。これが神の知恵、いわば「ミルク」であり「福音」です。

5年が過ぎました。彼らは教会に出て、聖書の知識を増やしさまざまな奉仕をしました。しかし、日々の生活での内面的な変化はありませんでした。彼らは「幼子のクリスチャン」のままで、最初の「ミルク」に頼って生きているだけでした。

では、どうしてパウロは、彼らがまだ幼いままだと、わかったのでしょう？
「相変わらず肉の人だからです」。「肉の人」とは、「堕落した人間の本性」によって、私たちの物事に対する理解や行動の仕方が支配されているという事です。

どうしてそう分かったのか？　パウロは「互いの間に妬みや争いがある」と言います。「妬み」と「争い」はどちらも「自己主張」や「対立」を表しています。それは、「自分のやり方が正しい」、「自分の考えが正しい」、「自分の考えが受け入れられるべきだ」と常に主張する心を表しています。

コリントの人々は自分たちのやり方を押し付け、自分たちの考え方を他の人に強要し、自分たちが妬みや争い、肉の思いという罪によって決めていることに気づいていませんでした。自分たちを「霊的に成熟した者」だと思っていましたが、パウロは彼らに、教会を分裂させる「霊的な幼子」だと言ったのです。

「4 ある人が『私はパウロに付く』と言い、他の人が『私はアポロに』と言っているようでは、あなたがたはただの人ではありませんか。」

覚えておいてください。パウロもアポロも対立していませんでした。二人とも同じ「神の知恵」、同じ福音を信じていました。二人の奉仕の仕方が違ったにすぎません。それは、賜物が違ったからです。

しかし、教会のメンバーは人間の本性に思考を支配され、それらの違いを教会を成長させる方法として考え、「この方法が、パウロの方法が、アポロの方法が、正しい」と主張しました。「私の考えが正しい」、「私の考えが受け入れられるべきだ」と。

彼らは、「固い物」、すなわち「成熟した者たちの知恵」を受け入れませんでした。受け入れるには、絶えず自分の罪を見つめ、十字架に依存し、赦しと助けを求めるしかなく、そうすれば私たちは「イエスの姿」に成長し、教会も「イエスの姿」に成長します。

そして、結果的に誰も成長しませんでした。教会も成長しませんでした。教会は分裂していました。「霊的」であるところが、「肉的」だったのです。
・パウロは言います。「あなたがたは、ただの人として歩んでいる、ということになりはしませんか」

(3) まとめ

以前お話ししたように、私は神学校の学生だった頃、とても高慢で批判的でした。日曜学校での教え方について非常に批判的だった時期がありました。子供の成長の役に立たないと考えていました。そのため、担当牧師の指示に謙虚に従う代わりに、陰で批判していました。

ある日、私は牧師に電話をかけ、使っている教材について同意できないことを伝えました。牧師は愛をもって優しく私の話を聞き、私が意見を伝えたことに感謝し、一緒に祈ってくれました。

今振り返ると、私はまさにコリントの教会と全く同じことをしていたのです。私は自分の「人の本性」にとらわれていました。自分がとても霊的であると思い込んでいました。しかし、実際は嫉妬、争い、批判、そして高慢に満ちた、肉の姿を見せていました。まさに「キリストにある幼子」でした。

私は「固い物」を取るべきでした。自分の罪を見て、イエスの十字架に依り頼み、謙虚に許しと助けを求めることです。そうして、私は「イエスの似姿」に成長にでき、そこを通して神が「最善の結果」をもたらし、教会を成長させると信じることが出来たはずです。

成長には「固い物」を食べることが必要です。教会でも、家でも仕事でも、どこでも当てはまることです。

うちの息子が成長し、プロのフットボールの選手を目指しました。父としてその夢をサポートするために最善を尽くしました。しばらくの間、物事は順調でした。私たちは神が何かをしてくださると思っていました。しかし、ある時、全てが一変しました。

コーチがポジションを変えると決めたのです。息子のすべての努力が窓から投げ捨てられたのです。息子はひどく葛藤していました。父として、その苦しみを見るのは耐え難いものでした。毎日、私は神が介入し、状況を変えてくれるよう祈りました。しかし、神は沈黙しました。

ところが、祈っているうちに、息子が神のものであること、息子にとって何が最善かを知っているのは神だけだと気が付きました。そうして、私は息子が人生で何をどう望んだとしても、イエスを愛し、人生を通してイエスに仕えるように導いてほしいと祈り始めました。

今では、自分の思考が「人間の本性」に支配されていたことがわかります。自分を信仰の愛ある父と思っていましたが、実際は肉的であることを示しました。「この世への愛」、「人生のプライド」、「神への不信」に満ちていました。

自分の罪に気づき、十字架に頼り、謙虚に赦しと助けを求めれば、私は「イエスの似姿」に成長できたのです。神がその出来事を通して「最善の結果」をもたらすことを信じながら。それによってのみ、私は成長し、家族も成長し、共に神の誠実さを証しすることができるのです。

私が最も好きな旧約聖書の人物の一人はダビデです。次の王として油を注がれましたが、忠実に現職の王サウルに仕えました。神は祝福しました。しかし、嫉妬によって、サウルはダビデを殺そうとしました。ダビデは荒野に隠れ、サウル王とその軍隊は彼を追いかけました。

その時が来ました。ダビデと仲間が洞窟に隠れていると、サウル王が用を足すためにその洞窟にやって来ました。仲間たちは皆、ダビデにサウルを殺すよう促しました。しかし、ダビデは殺すことはせず、サウルが用を足している間にサウルの衣の端を切り取りました。

その後、聖書にはこう記されています。「だがその後でダビデはサウルの上着の端を切り取ったことを後悔し」サムエル記上 24:6（英語は 24:5a）

ダビデは「固い物」を食べています。「人間の本性」に支配された考えを拒絶しました。
ダビデは自分の罪に目を向け、悔い改め、神ご自身がこの過程を通して「最善の結果」をもたらすことを信じ、神はその通りにしました。 神は、その後、ダビデに王国を渡しました。

このような事が、コリントの人々に必要でした。
「固い物」を食べ、「人間の本性」に支配された考えを避ける。自分自身の罪、十字架、神の赦しと助けに焦点を当てることで、「イエスの似姿」に成長する。 その過程を通じて神が「最善の結果」をもたらすことを信じること。 神はそうされます。教会を神が成長させます。

これは私たちにも必要です。教会でも、家でも、職場でも、学校でも。
「固い物」を食べ、「人間の本性」に支配された考えを避ける。自分の罪、十字架、神の赦しと助けに焦点を当て、「イエスの似姿」に成長する。そして、その過程を通じて神ご自身が「最善の結果」をもたらすことを信じて、「イエスの似姿」への成長を始める。教会で、家、職場やどこででも。神はそうされます。

クリスチャンではなくとも、人生を変えるものは同じです。
「人間の本性」に支配された考えをやめる。それはあなたも、あなたの周りの人も壊します。

自分の罪、十字架、神の赦しと助けに焦点を当てる。そして、神ご自身がそのことを通して、「最善の結果」をもたらすと信じましょう。神はそうされます。そして、あなたを愛している「生きている神」に頼ることができる「新しい人生」を始めましょう。今日、そうしましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4524jp

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 3 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了したTBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
11 月 9 日（土）1:30 pm - 5:30 pm
参加条件:どなたでも

★クラス 201
スモールグループについて
11 月 10 日（日）1:00 pm - 5:00 pm
参加条件:どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

3．日本語訳レイアウト＆印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org